

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会 2010年度事業報告書

2011年3月14日
一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会
理事会



2

目次

1. 全体の部
2. 入退会状況および会議の部
3. 公益活動の部
4. 収益事業の部



1. 全体の部

2010年度全体計画
2010年度総括

2010年度全体計画

全体として「TC技術の適用分野拡大による会員規模の増加」、「人材育成の強化」、「『使用説明』の普及」、「単年度黒字化の達成」を目標に掲げた。

公益活動:「筑波大学との連携によるTC専門教育のカリキュラム・ガイドライン策定」、「日本マニュアルコンテストのリニューアルに着手」、「TCシンポジウムによる公益性強化と事業観連携の推進」、「関連団体との連携強化」を重点的な目標とした。

収益事業:「セミナー新規格の実施による収入確保」、「TC技術検定の2月、7月実施」、「新ガイドブックの出版と既存タイトルの拡販継続」、「新規受託サービスの提供」を重点的な目標とした。

2010年度総括

使用説明の変化を書籍『トリセツのつくりかた:制作実務編』に取り入れ、TC技術の新たな体系化を形作ることができ、TCシンポジウム2010においても、東京開催、京都開催ともに昨年を上回る規模の参加者を集めるなど、急激な環境変化に対応して協会から発信するコンテンツの土台を築くことができた。

日本マニュアルコンテスト2010の応募点数が増加に転じ、TC専門教育のカリキュラム・ガイドラインについても原案を作成するなど、公益活動の面では、順調な成長とシンポを形にすることができた。

セミナー事業では、個々のセミナー実施計画の立案に難航し、目標とした収入を達成することができなかった。出版事業においては、『トリセツのつくりかた:制作実務編』の内容一新が計画通りに進行できず、出版時期の遅れが発生した。

全体収支において、約25万円の赤字決算となり、収益事業の収入確保と増加策において、2011年度に課題を残す結果となった。



2. 入退会状況および会議の部

入退会状況

会議

入退会状況

- 2010年1月1日現在
 - 法人会員 98社
 - 個人会員 199名

- 2010年12月31日現在
 - 法人会員 93社
 - 個人会員 175名

- 2010年1月～12月の入退会数
 - 新入会 法人会員 8社、個人会員 13名
 - 退会 法人会員 13社、個人会員 37名

会議の部: 評議員会

評議員会

第1回	3月16日	15:00～17:30	TC協会事務所
第2回	7月26日	15:00～17:30	TC協会事務所
第3回	11月16日	15:00～17:30	TC協会事務所
第4回	12月14日	15:00～17:30	TC協会事務所

会議の部: 理事会

第1回	1月7日	16:00~18:00	TC協会事務所
第2回	2月3日	15:00~18:00	TC協会事務所
第3回	3月3日	15:00~18:00	TC協会事務所
第4回	4月7日	15:00~18:30	TC協会事務所
第5回	4月30日	15:00~18:00	TC協会事務所
第6回	6月2日	15:00~17:30	TC協会事務所
第7回	7月5日	15:00~17:50	TC協会事務所
第8回	8月4日	15:00~17:00	TC協会事務所
第9回	9月1日	15:00~17:00	TC協会事務所
第10回	10月12日	17:30 ~ 19:30	TC協会事務所
第11回	10月27日	14:00~17:00	TC協会事務所
第12回	11月16日	18:00~20:15	TC協会事務所
第13回	11月25日	15:00~17:30	TC協会事務所
第14回	12月2日	18:00~20:15	TC協会事務所
第15回	12月22日	15:00~18:00	TC協会事務所

3. 公益活動の部

TCシンポジウム
 マニュアルコンテスト
 学術研究・産学協同の推進
 海外市場への対応
 標準規格の策定の推進
 その他

TCシンポジウム(1)

担当組織: TCシンポジウム委員会

委員長: 黒田 聡 (株)情報システムエンジニアリング

実施組織: TCシンポジウム2010 実行委員会

実行委員長: 伊藤 順喜 富士ゼロックスアドバンステクノロジー(株)

関西開催実施組織: TCシンポジウム2010 関西実行委員会

京都開催代表: 山崎 敏正 パナソニック(株)

開催実績

【東京開催】8月24日(火)25日(水)工学院大学(新宿)

参加: 1,080名

【京都開催】10月7日(木)8日(金)京都テルサ

参加: 360名



TCシンポジウム(2)

TCシンポジウム2010テーマと基調講演

テーマ: 情報ライブ感! 聞いて考え、語ってつなぐ

東京開催基調講演: 片思いから両思いへ～使い手と作り手をつなぐトリセツのかたち～

原研哉氏 × 山中俊治氏

京都開催基調講演: トリセツでつくる幸せな関係

久保雅義氏 × 小山薫堂氏

実施結果

TC技術の対象領域の拡大と使用説明のグローバル化を背景として、関西独自企画を含め、過去最大の14本のパネルディスカッションを企画し、多彩なテーマで議論を深めた。昨年に引き続きtekomから公式代表3名を招き、欧州向けマニュアルをテーマに議論したほか、2009年末に改訂された欧州機械指令2006/42/ECに関する発表も行った。

京都開催は、史上初の2日(実質1.5日)開催となり、これも初の試みとなった独自の基調講演に多くの聴衆が集まった。

次年度への課題

TC技術における視覚表現やデザインの重要性に着目し、表現技術の拡大と、多様化する伝達媒体の効果的な利用方法に取り組む。



マニュアルコンテスト

担当組織：マニュアルコンテスト委員会

委員長：徳田 直樹（株）パセージ

実施組織：日本マニュアルコンテスト2010 実行委員会

実行委員長：嶋田 正裕（株）日立ICTビジネスサービス

応募点数 75点

マニュアル・オブ・ザ・イヤー

コンシェルジュ型FAQ搭載 ビエラで見るWebマニュアル「ネットで使い方ガイド」

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

活動概要

応募点数が前年比5点増となり、近年の漸減傾向に歯止めがかかった。

一次審査の基準見直しにより審査員講習を200名が受講するなど、コンテスト全体の活性化が見られた。

次年度への課題

画面で見るマニュアルの部門見直し、業務マニュアルへの門戸拡大などにより、応募の多様化と品質の向上を推進する。



学術研究・産学協同の推進

担当組織：学術研究産学協同委員会

委員長：島田 能里子 ソニー（株）

1) WebコミュニケーションWG WG略称：TC専門教育WG

リーダー：大野 邦夫 職業能力開発総合大学校教授

12月の会合をもって、2005年より継続してきたワーキンググループ活動に、終止符を打ち、2011年以降、メンバーとテーマを刷新したうえで再スタートをはかる。

2) TC専門教育カリキュラム・ガイドライン策定WG

リーダー：島田 能里子 ソニー（株）

TC技術の体系化をはかり、TC専門教育に求められる技術と知識についてのアンケート調査をふまえて暫定版ガイドラインを策定し、TCシンポジウム2010において発表した。

次年度においては、ガイドラインを修正して公表するとともに、大学に於ける履修認定コースの具体化に向けて原案をとりまとめる。



海外市場への対応

担当組織：海外市場向け製品取扱情報・商品表示情報対応委員会
(海外市場委員会)

委員長：黒田 聡 (株)情報システムエンジニアリング

活動概要

8月23日に、TC協会とtekcomの共催により、グローバル化が進む世界のTCIに関する情報共有と共通課題への取り組みを目的として、ドイツ、米国、中国、韓国、日本のTC団体代表者による円卓会議「TC in a Globalized World 2010」を開催した。

昨年に引き続き、11月にドイツで開催されたtcworld conference 2010に参加し、中国、韓国、日本のTC団体および関連企業による特別出展企画「Asian Pavilion」に参加、カンファレンスにおける発表も行った。

次年度への課題

アジア、欧州のTC関連団体との連携と情報交換を深め、TC協会会員の利益となる情報の収集と共有に努める。

標準規格策定の推進(1)

担当組織：標準規格策定委員会

委員長：徳田 直樹 (株)パセージ

1) PDF電子校正向けの校正記号およびコメント入力方法のガイドライン策定WG

リーダー：西井 福德 リコー三愛サービス(株)

2009年の活動成果として、2010年2月に「電子校正ガイドライン」を策定、公開した。
ガイドラインの公開をもって、ワーキンググループ活動を完了した。

2) 電子的テキスト校正ツール向けTC分野の過指摘回避辞書構築WG

リーダー：白輪 琢郎 東芝テック画像情報システム(株)

2009年の活動成果として、2010年2月に「過指摘回避辞書構築 報告書」を策定、公開した。
報告書の公開をもって、ワーキンググループ活動を完了した。

標準規格策定の推進(2)

3)DITA取り組み検討WG

リーダー: 黒田 聡 (株)情報システムエンジニアリング

DITAコンソーシアムジャパンと連携し、使用説明分野におけるDITAの利用に関して、適用可能な範囲や導入の留意点などを検討し、TCシンポジウム2010において成果の発表を行った。

次年度においては、検討の対象をXMLベースで構造化された制作基盤に拡大し、コンテンツ管理システムについても、その利点や導入に際しての留意点などを検討する。

4. 収益事業の部

TC技術検定事業

セミナー事業

受託事業

出版事業

TC技術検定事業(1)

担当組織

TC技術検定部会

部会長: 高橋 尚子 TC協会専務理事

TC技術検定作問委員会

委員長: 高橋 尚子 TC協会専務理事

試験実施実績

1回目: 2月14日(日) 会場: 東京、大阪、地方会場3

- 3級テクニカルライティング[TW]試験 <受験申込数: 488名>
- 受験者数: 470名(出席率96.3%)
- 合格者数: 318名(合格率67.6%)

TC技術検定事業(2)

2回目: 7月18日(日) 会場: 東京、大阪、地方会場2

3級テクニカルライティング[TW]試験 <受験申込数: 296名>

- 受験者数: 276名(出席率93.2%)
- 合格者数: 128名(合格率43.2%)

2級取扱情報制作ディレクション[DR]試験 <受験申込数: 164名>

- 受験者数: 155名(出席率94.5%)
- 合格者数: 40名(合格率24.3%)

3回目: 10月26日(日) 会場: 東京、大阪

2級使用説明制作実務[MP]試験 <受験申込数: 103名>

- 受験者数: 98名(出席率95.0%)
- 合格者数: 14名(合格率13.6%)

次年度への課題

- 2011年2月に2級使用説明制作ディレクション[DR]試験、2級使用説明制作実務[MP]試験を実施(2月13日)。2011年夏(7月上旬)に3級テクニカルライティング[試験]を実施する。
- 2011年6月末までに、2級使用説明制作ディレクション[DR]試験のガイドブックの全面改訂を進め、2012年2月から、改訂版に対応した試験を実施する。

セミナー事業(1)

担当組織：セミナー部会
 部会長：柘植 繁 TC協会専務理事

セミナー開催実績
 特別セミナー

2010年6月30日(水) 10:00～16:45

これからのトリセツ制作実務

第1部:トリセツの付加価値を高める、新たなTC技術

第2部:TCの現場から見た新しい制作基盤のインパクト

参加 57名(第1部のみ2名、第2部のみ6名、第1部第2部通し49名)

7月9日(金) 13:30～18:00

新人のためのトリセツづくり:ハンズオンセミナー

～ツイッター(携帯電話用)のトリセツをつくってみよう～

参加 6名



セミナー事業(2)

9月22日(水) 10時～12時

Adobe InDesign CS5で変わる表現設計

参加:22名

10月1日(金) 10時～12時

Adobe Illustrator CS5で、誰でもできるテクニカルイラスト

参加:21名

10月9日(土) 10時～12時30分

10年に1度のワークフロー革新～Adobe CS5製品のインパクト～

参加:6名

TC技術検定受験対策セミナー

3級テクニカルライティング[TW]試験

1月12日(火)、16日(土)、19日(火)、29日(金)、6月11日(金)、18日(金)、19日(土)

受講者合計:271名



セミナー事業(3)

2級取扱情報制作ディレクション[DR]試験

6月11日(金)、18日(金)、19日(土)

受講者合計:79名

2級テクニカルライティング[MP]試験

9月22日(水)、10月1日(金)、9日(土)

受講者合計:88名

出張セミナー

実施実績、2社 1月23日(土)、9月11日(土)

次年度への課題

セミナーの年間計画、半期計画を早期に策定し、会員企業をはじめ、セミナーを活用するための利便性向上をはかる。

TC技術の変化を反映した新たなセミナーコンテンツの開発を進める。

受託事業

担当組織: 受託事業部会

部長: 雨宮 拓(兼務)TC協会代表理事

受託調査

ニューメディア開発協会からの平成21年度受託調査研究につき、3月末に報告書「Web 情報に
応用されるメディアミックスの評価基準に関する調査・研究」を納品。

受託マニュアル評価

2社、4件 (1社はドイツ企業よりの受託)

次年度への課題

次の2つの新たな受託サービスを実施し、サービス内容の拡充をはかる。

tekomとの連携によるTC Check-up(欧州市場向けマニュアルの評価)

海外市場委員会との連携によるGB対応評価

出版事業

担当組織: 出版事業部会
部会長: 柘植 繁(兼務)TC協会専務理事

書籍出版
・トリセツのつくりかた: 制作実務編

機関誌出版
Frontier 第4号
Frontier 第5号
TCシンポジウム2010論文集(Frontier特別号)
TCシンポジウム2010記録集(Frontier特別号)

次年度への課題
「日本語スタイルガイド(第2版)」4月発行予定。
「トリセツのつくりかた: 品質追求編(仮題)」6月発行予定。